

ものづくり通信



2019年 新年号

第154号

大阪府ものづくり振興協会

大阪府中央区本町橋2番5号マイドームおおさか6階

電話・06-4792-7897

2019年 年頭所感

会長 木村 俊雄



新年明けましておめでとうございます。

旧年中はものづくり振興協会の活動に対し会員各位、関係行政機関、関係団体の皆様には多大のご協力、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。本年もなお一層のご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

さて日本の経済は堅調な企業収益を背景に設備投資の増加や雇用・所得環境も改善するなど穏やかな回復が続き、今年1月まで続くと戦後最長記録を超えることになるそうです。

しかしながら賃金は伸び悩み消費も力強さを欠き、景気回復の実感はあまりありません。

但し、企業の業績を背景に雇用関係は改善しましたが、少子高齢化の影響で人材不足になり、外国人労働者に頼らなければならなくなっているのが現状です。

その為、昨年12月8日に改正入管法が成立し、4月から施行され外国人労働者の受け入れ条件が大幅に緩和されることとなります。

また10月からは消費税増税がスタートすることになっており、企業の業績にも少なからず影響がでてくるものと懸念されます。

ところで昨年は、西日本豪雨や相次ぐ地震被害に加え、25年ぶりという大型台風21号の上陸により多くの企業が被害を受け企業収益の重石になるという側面も顕著に現れました。

世界経済においては米国の保護主義の高まりに加え、米中貿易摩擦が顕著化し世界経済に影響を与えることになり先行きの不透明感は払拭されないのが現状です。

そのような環境下で昨年11月23日には2025年の国際博覧会が大阪で55年ぶりに開催することが決定いたしました。

また大阪では、今年6月はインテックス大阪でG20サミット首脳会議、9月にはラグビーワールドカップが開催され、東大阪市花園ラグビー場が会場になり大いに期待されます。

そして今年が一番大きな出来事は天皇陛下が4月30日に退位され、皇太子さまが翌5月1日に即位されることにより平成の時代が終わり新しい年号の時代が始まります。

いずれにしても大阪府ものづくり振興会としましては「OSAKA-MONO.net」のさらなる活用を目指し、大阪府や大阪人材確保推進会議会とも連携を深め、大阪のものづくりの発展に寄与していきたいと考えています。

また各種セミナーや工場見学会等を通じて情報発信を強化していくとともに、会員団体や傘下企業様へのスキルアップを図れるよう努力していきたいと思っております。

2019年は変化の多い年になると思いますが、皆様にとって実り多い良い年になることを祈念しまして新年のご挨拶とさせていただきます。





2019年 年頭所感

近畿経済産業局長 森 清



平成31年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、関西地域の経済は、生産や消費が好調に推移し、緩やかな改善が続きました。一方で、大阪北部地震や相次いだ台風上陸などの自然災害に見舞われた一年ともなりました。

昨年11月に2025年国際博覧会の開催が決まりました。本年6月にはG20サミット、秋のラグビーワールドカップ、さらには2021年ワールドマスターズゲームズと世界から注目を集めるビックイベントが目白押しです。これから数年間は、関西が益々元気になる絶好の機会だと言えるでしょう。関西一円2府5県の至る所で、様々なベンチャー企業や中堅・中小企業が活躍され、各地でイノベーションが湧出することが大いに期待されます。

近畿経済産業局では、万博などの開催を契機として、関西地域の経済社会が様々な形で発展するべく、本年は特に以下の3つのキーワードで事業に取り組みます。

一つ目は、若者や女性の活躍です。

全国で若者の首都圏への流出が大きな課題となっており、関西も例外ではありません。「関西の大学卒業後の学生を如何に関西に引き留めるか。女性が如何に関西で活躍できるか。」が非常に大きな課題です。

近畿経済産業局では、「関西ベンチャーサポーターズ会議」の枠組みを充実させ、関係機関と連携し、現在若者を中心に関西で1,000社以上が活動しておられるベンチャー企業がより成長し、更にベンチャー企業の創出が誘発されるようなエコシステムの構築を進めます。また、「LED関西」など女性起業家成長支援やベンチャー型事業承継の普及、中堅・中小企業と学生とのジョブマッチングなど若者や女性の活躍を応援します。住環境や通勤環境に優れた関西の魅力を域内外へ発信し、海外や首都圏からの起業や投資の呼び込みに努めます。

二つ目は、中堅・中小企業の更なる活躍です。

関西には特色ある優れた中堅・中小企業が多数存在し、地域経済を支えておられます。

近畿経済産業局では、ロボット、ヘルスケア、航空機、新素材、水素など今後成長が期待される産業クラスター群の形成や、地域未来関連施策の活用により、地域経済の牽引役を担う企業の支援を強化します。また、大規模自然災害への対応力強化、消費税や下請対策、人材の不足、事業承継、サイバーセキュリティといった中小企業の喫緊の課題に機敏に対応し、地域中小企業の皆様の活力向上を促します。

三つ目は、更なるグローバル化です。

「持続可能な開発目標（SDGs）」のコンセプトは2025年万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」と軌を一にするものです。

近畿経済産業局では、SDGsのコンセプトの普及と環境エネルギー分野を始めとした成長分野における関西企業の海外展開の支援を積極化させます。また、各地に眠る様々な地域資源の魅力に着目し、その海外との接点の拡大を図ります。海外、とりわけアジアとの結びつきを強化し、関西のグローバル化に向けた取組を進めます。

近畿経済産業局の全職員が「がんばる企業応援隊」となって、年間1,000社を訪問し、中堅・中小企業の実態を把握します。また、関西企業の課題や今後の方向性、さらには魅力的な関西のビジネス環境を「関西企業フロントライン」として発信します。

本年はこれらの取組に全力をあげ、関西経済の更なる活性化を目指します。

結びに、経済産業行政への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



2019年 年頭所感

大阪府知事 松井 一郎



新年あけましておめでとうございます。

昨年11月、皆さまと心をひとつにして取り組んだ「2025年万博」の開催が決定しました。6月に開催される「G20大阪サミット」とあわせて、世界の人々に大阪の存在を知らしめるまたとないチャンスです。G20を成功させるとともに、2025年万博については、若い人たちをはじめ全世代の参画のもとに、これまでの常識を打ち破る、世界の課題の解決を図るものに創り上げ、成長・発展の流れを確かなものにしていかなければなりません。

そのために、まずは、成長の基盤となる安全・安心のレベルをさらに高めることが最重要です。昨年は全国で大規模な自然災害が頻発し、大阪では大阪府北部を震源とする地震や台風第21号などにより、多大な被害が発生しました。引き続き復旧に向けて着実に取組みを進めますとともに、今回の相次ぐ自然災害を教訓として災害対応力の強化に取り組んでいきます。

次に、2025年万博が、世界中の人々と“いのち輝く未来社会”を共創する場となるよう、そのスタートの年として取組みを加速させます。ライフサイエンスの強みを活かした健康・医療関連産業の振興やイノベーションの促進、これらを支える都市機能の充実など、これまでの蓄積を活かしながら、さらなる成長軌道への押し上げを図ります。あわせて、万博のテーマを先取りし、内外への課題解決につながる10歳若返り、SDGsの取組みを拡大していきます。

G20大阪サミットは、主要先進国・新興国の首脳などが一堂に会し、世界経済をはじめ幅広い議題を扱う大規模な国際会議です。国との緊密な連携のもと、皆さまとともに、来阪される方々を最高のおもてなしでお迎えできるよう準備を進めます。

大阪の魅力を高める統合型リゾート（IR）の立地に向けては、これまで他の自治体に先駆けて準備を整えてきました。ギャンブル等依存症などの懸念事項に対して万全の対策を構築し、「世界最高水準の成長型IR」を核とした国際観光拠点を、大阪・夢洲で実現させたいと考えています。

成長を支える都市機能の充実にも力を注ぎます。リニア中央新幹線と北陸新幹線は、全国と繋がる広域鉄道ネットワークの基幹となるものです。引き続き、新大阪駅までの早期開業を働きかけるとともに、両新幹線の結節により一大ハブとなる新大阪駅およびその周辺地域が、スーパー・メガリージョンの核に相応しい広域拠点となるよう取り組みます。

大阪が強く豊かにそして輝くためには、女性や若者、障がい者などすべての人の力が発揮される社会づくりや将来世代への投資が重要です。市町村・関係機関と連携しながら、女性や若者が活躍するための環境整備として、雇用促進や子育て支援などを展開し、一人ひとりの就職・結婚・出産・子育てなどの希望を実現する取組みを推進するとともに、障がい者の自立と社会参加に向けたさまざまな取組みの充実を図ります。また、子どもの貧困対策や児童虐待の根絶などに全力で取り組むとともに、教育については、一人ひとりの子どもたちが置かれている環境に関わらず、将来に向けてチャレンジする力を育めるよう、私立高等学校授業料の無償化をはじめ、引き続き「すべての子どもの学びの支援」を進めます。

こうした取組みの推進力である府市の連携を確固たるものにするには、副首都・大阪にふさわしい「新たな大都市制度」の実現が不可欠です。私の任期中に、住民の皆さまに「新たな大都市制度」をお示しし、選択していただけるように、全力で取り組みます。

私の任期も残すところ一年を切りました。

今年は、これまで築いてきた「変革と挑戦」の姿勢を再認識し、府市が一体となって進めてきた「成長と安全・安心のよき循環による豊かな大阪の実現」に向けた取組みの「総仕上げの年」にしたいと思います。

皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆さまにとって実りあるすばらしい年となりますようお祈りします。



平成30年度 秋国家栄典（叙勲・褒章）

種別	氏名	団体・役職名
旭日単光章	田中 義治	近畿鍛工品事業協同組合 元理事長



長年にわたり業界の発展の為に功績が認められ表彰されました。
誠におめでとうございます。

平成30年度 工場見学会のお知らせ

延期しておりました工場見学会を下記で予定しておりますので、多数のご参加よろしく
お願いいたします。

- ◆ 日時：平成31年2月21日（木）9時集合（マイドームおおさか玄関前）
- ◆ 場所：・(株)モリタ 三田市テクノパーク 1-5
・(株)神戸酒心館 神戸市東灘区御影塚町 1-8-17
- ◆ 参加人数：先着25名
- ◆ 参加費：5,000円 *詳細の案内は後日連絡いたします。

協会より

◎ 平成31年度大阪府憲法記念日知事表彰について

ご推薦いただきました産業功労者の団体役員追加も含めて7名の方を大阪府へ進達しました。

◎ 平成31年 新年交流会の開催

月日：1月28日（月）

場所：ヴィアーレ大阪

時間：一部 17:00～ 演奏会：大黒恵子氏 / 津軽三味線演奏

二部 18:00～ 交流会 * 皆様、多数ご参加下さい！

◎ 今後の予定

- ・工場見学：2月21日（木）(株)モリタ 三田方面 後日お知らせいたします。
- ・事務局長会議：2月未定 詳細は、後日お知らせいたします。

